

くにたち

1986年に高温超電導フィーバが起こってから、20年が経ちました。当時は、もともと超電導の研究を行なっていなかった企業や研究機関でさえも、原料を購入して乳鉢の中ですりこぎで混ぜ合わせて臨界温度の高い物質を探し当てるのに躍起になっていました。村上雅人著「超電導の謎を解く」に記述されていますが、週刊誌の記者も超電導体を合成して記事にしたということまであったそうです。

20年経って高温超電導線材が製品化されているのはある意味脅威です。今は、(臨界電流値 I_c)×(長さ L)という量を世界で競い合っています。现阶段のチャンピオンデータは、2007年9月に日本のフジクラが発表した112,166 Amですが、一箇月前の8月にはアメリカのSuper Power社が102,935 Amと発表したばかりでした。技術開発の進展の早さを感じます。

2008年は、超電導技術を支えるヘリウムの液化に成功してからちょうど100年になります。新たな発見を期待しつつ、今回の特集をお読みいただければ幸いです。

(注. 11月の国際会議にてSuper Power社が150,100 Amを達成したと発表しました。)(M.I.)

■監修責任者

内田雅夫

■編集責任者

手塚和彦

■企画・校閲

中島 強, 坂本義雄, 白戸宏明, 青木俊幸,
西堀典幸, 織田安朝, 武居 泰, 兎束哲夫,
柳川秀明, 杉山友康, 福村直登, 土屋広志,
鈴木昌弘, 澤 貢, 岩松 勝, 廣瀬道雄

■編集・出版

財団法人 研友社

次号 ■ 平成20年1月号 ■ 予告

特集：流れを探る

インターネットのホームページで、様々な最先端の鉄道技術の紹介や関連する情報を提供しています。

■鉄道総研アドレス

http://www.rtri.or.jp/index_J.html

■研友社アドレス

<http://www.kenf.or.jp>

■記事に関するお問い合わせ先

総務部 広報 電話042-573-7219

鉄道事業各社の 業務運営に供する

■ 12月号主要目次 ■

特集：システム開発・活用の現状と展望

～業務支援や事務管理体制の強化～ …………… JR旅客6社、JR貨物

グループ企業の躍進：広告・宣伝 …………… JR各社グループ会社

コメンタリー：長野新幹線開業10周年 …………… JR東日本

京都駅ビル10周年を迎えて …………… JR西日本

フライト・ルポルタージュ：東京～大阪線で新たなサービス …………… 杉浦 一機

■鉄道総合専門誌■
JR
JRガゼット
gazette

定価610円

(送料84円)

年間購読料7,320円

(定価は消費税込)

発行所 (株)交通新聞社

〒102-0083 東京都千代田区麹町6-6
麹町東急ビル

ご購入お申込みは販売部まで

TEL NTT ☎ 0120(008)816 FAX NTT ☎ 0120(456)484
JR (051)5109 JR (051)3596